

【続報】新型コロナウイルスによる物流への影響

WHOの発表などによれば、本日3月24日時点で感染者は33万2,930人で193の国・地域に拡大、死者も1万4,510人となりました。また、感染者数増加のペースも、本日24日と昨日で比較すると約4万人増えるなど急加速しており、深刻さを増しています。経済への影響も各所で出ていますが、本号では欧州・米州各地における物流への影響を中心に伝えします。

1. 新型コロナウイルス感染拡大による影響

3月23日で武漢の封鎖措置が始まって2か月になりますが、3月22日、武漢市当局は一定の条件を満たせば出勤を認める通知を出し、正常化に向けた動きを徐々に進めるとみられています。その一方で、世界各地での感染拡大を受け、米国の一部の州や欧州諸国などが次々と市民の行動制限に踏み切り、政府による外出禁止令や自宅待機の呼びかけがなされ、3月23日時点で、外出制限を受けている人が50以上の国と地域で合わせて約17億人になっています。また、国境管理強化により各地のサプライチェーンに深刻な影響を与え、物流の停滞が懸念されています。

2. 各地における物流への影響

現時点で確認された各地における物流の影響は以下のとおりです。

【米国】

トランプ大統領は3月13日、米国内での新型コロナウイルス感染拡大を受けて国家非常事態を宣言しており、物流の停滞によりアメリカ国内の商品供給や小売製品の主要輸入港へ深刻な影響を与える可能性があります。

カリフォルニア州：ロサンゼルス港・ロングビーチ港

・北米西岸南部ロサンゼルス港、ロングビーチ港ではコンテナ船の入港が激減した影響で、各ターミナルではゲートオープン時間が制限されています。また、本船寄港が少ないため空コンテナが大量に滞留しており、アジア側でのコンテナ不足も懸念されています。ロサンゼルス港では、通常の80%程度の稼働率でオペレーションを継続していますが、2月中旬から4月1日にかけて到着が予定されていた41便の運航がキャンセルとなっています。

フロリダ州：ジャクソンビル港・マイアミ港・カナヴェラル港

上記3港では事務所はクローズとなっていますが、オペレーションは継続しています。

【メキシコ】

・米政府とメキシコ政府は21日より30日間国境を越えた不要不急の移動を原則禁止としましたが、主に観光や娯楽目的のものであり、貿易はこれまでどおり維持されています。また、グアテマラ政府はメキシコとの国境を含む今後15日間、国境を閉鎖する予定です。また、メキシコシティ市内では商業施設が閉鎖となり、50人を超える人数が集まるイベントが中止となっています。

・メキシコ13州の150の製造会社を対象とした調査では、45%がアジア・太平洋地域からの輸入減、28%が契約等に基づく期限遅れを指摘、18%が生産を停止していることが分かりました。

【ブラジル】

- ・現時点では製造および物流への影響は確認されていません。
- ・アルゼンチン、チリ、ペルー、コロンビアの国境は3月19日から15日間閉鎖され、陸上輸送ができなくなっています。

【欧州周辺】

・シェンゲン協定加盟国26か国中21か国が国境を閉鎖していますが、欧州各国では貨物輸送は制限されていません。一方で、ドライバーの健康チェックや医療品の輸送が優先されることもあり、また外出制限によるドライバー不足も発生しており、国境を越えるトラック輸送に遅延が生じています。

・欧州委員会は、不要不急の欧州域内への立ち入りをすべて禁止する予定ですが、EU加盟国と協力して必要な物資が国境を越えて流通するよう働きかけています。なお、人の移動に制限があるため、長距離輸送に関しては鉄道輸送に切り替える企業も出ています。

・海上・航空輸送ともに減便のためキャパシティが不足しています。また、海上輸送では中国・アジアからの船便減少により空コンテナ不足が生じています。

3. 輸送中の盗難リスクに関する注意喚起

世界規模での感染拡大に伴い、消毒液、石鹼、マスク、食料など必需品とされる商品に関しては、通常よりも標的にされる恐れがあるため、下記のように盗難対策を強化する必要があります。

- ・安全な駐車場を探すための時間を確保する
- ・短時間であってもトラックから離れない
- ・輸送開始前 および 停車地点ごとに、トラック・トレーラー・コンテナシールの状態を確認し、幌を切られたりドアが開けられていないかをチェックする
- ・搬入先の受入キャパシティ・営業時間を確認する、輸送途中に経過報告を入れ、貨物搬入をスムーズに実施できるようにする

【グローバルネットワーク】

前述のように各国政府からの指示により行動制限が発生しているものの、現時点では海外拠点の弊社社員、海外クレームエージェントを含め、リモートワークなどを活用してお客さま対応を継続しております。事故発生の際には、下記の損害サービスネットワーク、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/songai/kamotsu/kaigai_network/



【出典】

SENSITECH <https://www.sensitech.com/en/>

日本海事新聞 <https://www.jmd.co.jp/>

マリンピックスのバックナンバーはこちら



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。